

第24回

住生活月間功勞者表彰名簿

平成24年10月

国土交通省住宅局

目 次

国土交通大臣表彰（個人）	1
国土交通大臣表彰（団体）	5
住宅局長表彰（個人）	8
住宅局長表彰（団体）	10

国土交通大臣表彰（個人）

氏 名	職 名	関 係 団 体 役 職	功 績 概 要
あやた ひでお 綾田 秀雄 (54歳)	(社) 関西住宅宅地経営 協会 専務理事	(社) 関西住宅宅地経営協会 専務理事	多年、住宅産業関係団体の役職員として従事し、業界の発展に寄与した。
あらい かずひろ 荒井 和弘 (67歳)	東京不動産管理(株) 常務取締役	(社) 建築設備技術者協会 監事	多年、建築設備設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
いのうえ きよし 井上 清司 (64歳)	滋賀県建築設計監理事業 協同組合 専務理事	(一社) 滋賀県建築設計家協会 専務理事	多年、建築設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
いまむら たみよし 今村 民良 (65歳)	(株) アイエコアップ 代表取締役会長	(一社) 中部地区しろあり対策 協会 理事長	多年、しろあり防除施工業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。

氏 名	職 名	関 係 団 体 役 職	功 績 概 要
かどまつ のぶひさ 門松 信久 (66歳)	堂園設計(株) 代表取締役社長	(社) 鹿児島県建築士事務所協会 理事	多年、公営住宅の設計・監理をはじめ、建築設計、 工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役 員として業界の発展に寄与した。
なかがわ かずお 中川 一夫 (58歳)	(有) 金六設計室 代表取締役	(一社) 滋賀県建築士事務所協会 理事	多年、建築設計、工事監理等の業務に精励するとと もに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
はっとり みねき 服部 岑生 (71歳)	千葉大学 名誉教授 NPO 法人ちば地域再生 リサーチ理事長	千葉県建築審査会会長 千葉市住宅政策審議会会長	多年、千葉県住宅マスタープラン策定委員会及び住 生活基本計画改定検討委員会の委員長や千葉市住宅政 策審議会会長を務め、千葉県における建築・住宅行政 に深く関わり、県民の居住水準の向上及び住生活の安 定に大いに寄与した。
ばば かねかず 馬場 兼一 (63歳)	(有) ベフ企画 取締役社長	(社) 新潟県設備設計事務所協会 副会長	多年、建築設備設計、工事監理等の業務に精励する とともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与し た。

氏 名	職 名	関 係 団 体 役 職	功 績 概 要
ふじのはら まさあき 藤之原 正秋 (64歳)	都市住宅サービス(株) 代表取締役社長	(公財)日本賃貸住宅管理協会 理事	多年、住宅産業の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
まつの みちこ 松野 美智子 (58歳)	(株)松野総合建築事務所 常務取締役	(社)青森県建築士会 常務理事	多年、建築設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
よしだ かつのり 吉田 勝則 (61歳)	一級建築士事務所吉田建築デザイン 代表	(社)福井県建築士事務所協会 専務理事	多年、建築設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
よしむら よしはる 吉村 義治 (76歳)	大和ハウス工業(株) 顧問	元・(任)プレハブ建築協会 法人 化設立委員会委員 元・(社)プレハブ建築協会 需要 開発委員会委員 元・(社)プレハブ建築協会 教育 実施委員会委員	多年、住宅産業に従事し、プレハブ住宅の開発、事業化に尽力するとともに、関係団体の設立に携わるなど、業界の発展に寄与した。

国土交通大臣表彰（団体）

団 体 名	代表者	対 象 事 業	功 績 概 要
しべつし 北海道士別市	市長 牧野 勇司	公営住宅（建替） 「北部団地」 ・北海道士別市 ・平成14年度～平成22年度 ・172戸（RC造2～4階）	<p>当該団地は、住棟中央部にコミュニティエリア等を受け、入居者相互の交流を促進する配置としている。建物は外断熱工法の採用により高气密・高断熱化が図られ、北側居室面にライトコートを設置するなど住戸内の通風と採光の確保等により、一年を通じて安定した居住環境となるよう配慮されている。</p> <p>居室内は換気開口部が大きいドレーキップ窓の採用で快適な温熱環境を実現し、内装仕上げは汚れにくい材料や交換が容易なものを採用することでランニングコストの低減を図った。</p> <p>また、駐車場の透水性舗装仕上げ、屋外コミュニティスペースの外灯をLED照明とすることで、環境に配慮したものとされている。</p>
こまつし 石川県小松市	市長 和田 慎司	公営住宅（建替） 「川辺町住宅」 ・石川県小松市川辺町 ・平成20年度～平成23年度 ・110戸（RC造5階）	<p>当該団地は、石川県内初のPFIの整備手法を採用した大規模建替団地である。年間雨天日数が全国一かつ多雪寒冷地域である石川県の特性を踏まえ、全住戸にサンルームの採用、共用廊下を屋内化するなど地域特性に対応した仕様となっている。</p> <p>屋根材には地域産材の「小松瓦」を採用するとともに、解体建物の瓦を舗装材としてリサイクル使用するなど廃棄物の削減により環境への配慮がなされている。</p> <p>また、住宅の集約化・高層化により生じた余剰地をPFI事業者が宅地開発を行い、良好な住宅地として分譲し、子育て世帯等の地域への流入を図り、高齢化が進んでいた地域コミュニティーの活性化に寄与した。</p>

団 体 名	代 表 者	対 象 事 業	功 績 概 要
しろうし 兵庫県宍粟市	市長 田路 勝	公営住宅（建替） 「土井久団地」 ・ 兵庫県宍粟市千種町 ・ 平成 22 年度 ・ 10 戸（混構造 2 階）	<p>当該団地は、地場産業である木材の利用に着目し、上下階の遮音性能を確保するために 1 階部分の柱・梁と 2 階床板を RC 造、2 階部分を在来木造軸組工法とし、造作材にも地域材を使用するなど、積極的に地域材である宍粟材を使用することで地域の森林保全や産業振興に寄与した。</p> <p>また、団地の所在地が昔ながらの瓦葺き住宅が多い地域であることから、屋根を日本瓦葺き勾配屋根とするなど周辺景観に配慮した。</p>
さようちょう 兵庫県佐用町	町長 庵途 典章	公営住宅（建替） 「久崎第 2 住宅」 ・ 兵庫県佐用郡佐用町 ・ 平成 23 年度 ・ 17 戸（RC 造 3 階）	<p>当該団地は、平成 21 年台風 9 号による豪雨災害で被害を受けた地域内での移転建て替え事業であり、災害の経験をふまえ、一時避難所機能を兼ねそなえた集会施設の 2 階部分への設置、浸水に強い巻き上げ機上部設置方式のエレベータを採用するなど災害時対応をふまえた施設整備が図られている。</p> <p>屋根材および外壁の色調については周辺景観を考慮したものとし、共用廊下の照明と街路灯は周辺農地の農作物への影響を考慮し、遮光板を設置している。</p> <p>住戸には複層ガラスを採用し窓の内部結露発生を抑制しオール電化住宅とすることで深夜電力を利用し、入居者の電気料金を低減させ、入居者の負担軽減を図った。</p>

住宅局長表彰（個人）

氏 名	職 名	関 係 団 体 役 職	功 績 概 要
かさはら たかはる 笠原 高治 (68歳)	ポラテック(株) 理事	(社) 日本木造住宅産業協会 運営委員会副委員長・企画政策委 員会委員長	多年、住宅産業に従事し、高品質及び高耐久性に優 れた木造住宅の普及に努める等、業界の発展に尽力し た。
かわもと せいいち 川本 聖一 (52歳)	(株) 三菱地所ホーム 生産技術部長	(社) 日本ツーバイフォー建築協 会 技術推進委員長	多年、住宅産業に従事し、設計諸制度の改善に努力 する等、業界の発展に尽力した。
ささき しげお 佐々木 茂夫 (58歳)	(株) ファミリ工房 代表取締役社長	(財) 住宅産業研修財団優良工務 店の会(QBC) 幹事 (財) 生涯学習開発財団 監事	多年、建築事業等に従事し、地域のテレビ等を通じ て住意識の啓発等に尽力し、業界の発展に寄与した。
はしぐち とくじ 橋口 徳二 (59歳)	(株) システム建築鹿児 島 代表取締役	(財) 住宅産業研修財団優良工務 店の会(QBC) 幹事 鹿児島県建築士会伊佐支部 元理 事 鹿児島県福祉住宅ネットワーク協 同組合 理事	多年、住宅産業等に従事し、関係団体において木造 住宅の普及等に尽力し、業界の発展に寄与した。
ふじた けんご 藤田 憲吾 (53歳)	(株) 大成住宅 総務部経理課長	(社) 日本ツーバイフォー建築協 会静岡県支部 事務局長	多年、住宅産業に従事し、地域材を活用した家づくり の普及促進に尽力する等、業界の発展に寄与した。

住宅局長表彰（団体）

団 体 名	代 表 者	対 象 事 業	功 績 概 要
<p>はぼろちょう 北海道羽幌町</p>	<p>町長 舟橋 泰博</p>	<p>公営住宅（建替） 「新朝日団地」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道苫前郡羽幌町 ・平成13年度～平成22年度 ・86戸（木造平屋） 	<p>当該団地は、町内の小規模団地を集約し移転整備したものである。ほぼ半分の戸数が浴室等に介護スペースを設け、高齢者や身障者対応として整備された。</p> <p>冬期の強い西風や降雪を考慮し、雁木を整備し通行を容易にし、除排雪に配慮するとともに、風除室を設け冬期間における野外冷気の室内への流入を防ぎ暖房効果の低下の防止を図っている。また、構造物材及び雁木の格子、テラスの柵や内装仕上げ等に地場産材の活用を図っている。</p> <p>建物の景観については色彩をアースカラーで統一し周囲の田園地帯の景観に配慮したものである。</p> <p>なお、団地集約化により、建設コスト低減、ならびに管理コストの削減が図られた。</p>
<p>つなぎまち 熊本県津奈木町</p>	<p>町長 西川 裕</p>	<p>公営住宅（新規） 「さくら団地」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本県葦北郡津奈木町 ・平成22年度～平成23年度 ・10戸（木造2階） 	<p>当該団地は、UI ターン者等を想定対象とした定住促進団地の一角に幅広い世代の定住促進を図ることを目的に整備された。</p> <p>団地の整備にあたっては、地場産材を構造躯体で100%、その他内装材等に80%、畳表に100%使用し最大限の活用が図られた。外壁にはサイディング材を使用することでコスト縮減と工期短縮が実現した。</p> <p>住戸の玄関については、2戸1棟の住棟に対面式の玄関・ポーチが配置されており、コミュニティに配慮したものである。また、玄関前のコミュニティパスの一部に碎石を敷き込むことで防犯対策も図られている。</p>